

No. 546  
2017年  
1月

# OR学会だより

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F  
電話 (03) 3851-6100 Fax (03) 3851-6055  
<http://www.orsj.or.jp/>

## ● 日本OR学会各賞の候補ご推薦のお願い

本学会では、研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞、業績賞、実施賞、普及賞、論文賞、学生論文賞を設定し、それぞれの分野で顕著な成果・業績を挙げられた個人や企業を毎年表彰しております。つきましては、今年度も受賞候補者の積極的なご推薦を募ります。

### 推薦締切日

1. 研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞：2017年  
1月31日

2. 学生論文賞：2017年3月31日

推薦状は、学会HP <http://www.orsj.or.jp/whatisor/award7.html>からダウンロードしてご利用ください。

過去の受賞者一覧は学会HPに掲載しています。

### 〔研究賞〕

昭和43年（1968年）に創設された大西記念文献賞、およびそれを継承した文献賞を受け継ぎ、2011年度から設けられた本学会で最も歴史のある賞です。次の条件を満たす個人に贈られます。

1. 本学会員であること。
2. 独創性と将来性に富み、ORの発展に寄与する研究業績を挙げていること。

授賞対象とする研究業績は過去5年以内のものとし、毎年1名程度を表彰する予定です。（副賞50万円／1名）

### 〔研究賞奨励賞〕

若手研究者個人を対象とする賞です。上の研究賞の条件に加えて被推薦者の年齢に関して次の条件があります。被推薦者は、原則として応募締め切り時に満35歳以下であること。ただし、OR研究歴が短い方は、この年齢制限を超えていても構いません。授賞対象とする研究業績は過去3年以内のものとし、毎年4名程度を表彰する予定です。（副賞20万円／1名）

### 〔事例研究賞〕

ORの優れた事例研究に対して贈られます。毎年3件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

### 〔論文賞〕

2010年度より設けられた新しい賞です。過去1年間に本学会論文誌に掲載された論文のうち、特に優れたもの1編に贈られます。授賞論文の著者すべて（非会員が含まれる場合も全員）を表彰します。なお、論文賞の推薦は募りません。（副賞30万円／1件）

### 〔学生論文賞〕

学生によるORに関する優れた研究に対して贈られるものです。対象は、来春提出される学部の卒業論文、または大学院の修士論文とします。毎年5編程度を表彰する予定です。学生・指導教員がともに本学会員であることが必要です。詳しい募集要項は、OR誌2月号に掲載します。

（表彰委員会）

## ● 2017年春季研究発表会 （創立60周年記念大会）

日 程：2017年3月15日（水）～3月17日（金）

3月15日（水）13時～

特別講演、表彰式（一般講演セッションはありません）

3月16日（木）

一般講演等、懇親会

3月17日（金）16時終了予定

一般講演等

・研究発表会の開催期間を3日間とし、春季シンポジウムは併催しません。

場 所：沖縄県市町村自治会館（沖縄県那覇市旭町116-37）

研究発表会HP：<http://orsj.or.jp/~nc2017s/>

テーマ：「ORの新展開—さらなる変革と融合と発展を目指して—」

“New perspectives of Operations Research: Towards innovative fusion”

特別講演：3月15日（水）13:00～（予定）

- ・外山俊明氏（全日本空輸（株）執行役員貨物事業室長／（株）ANA Cargo代表取締役社長）
- ・松原仁氏（公立はこだて未来大学教授）
- ・未定（第6回近藤賞受賞者予定）

**発表申込み：**

2016年12月1日(木)～2017年1月9日(月・祝)

\*会場ならびにプログラム作成日程の制約により、  
受付期間終了後の発表申し込みはお受け致しかね  
ますのでご注意ください。

**実行委員長：**山下英明(首都大学東京)

**事前振込参加費(3/4(土)締切)：**

正・賛助会員：6,000円

学生会員：1,000円

非会員：8,000円

\*非会員の学生の事前振込みはありません。

\*OR誌1月号綴じ込みの振替用紙をご利用ください。  
当日は、アイウエオ順の受付になります。参加  
費受領メールの送信はありませんので、振替用  
紙の半券を保管ください。

\*欠席の場合、参加費の返金はできません。アブ  
ストラクト集をお送りします。

**非会員の方、振替用紙をご利用でない方の振込先**

みずほ銀行根津支店(店番号235)普通1530801

口座名：公益社団法人日本オペレーションズ・リ  
サーチ学会

シヤ)ニホンオペレーションズリサーチガツカイ

メールタイトル「研究発表会参加費振込」

お名前、ご所属先、正会員/賛助会員/協賛学会員/  
学生会員/非会員、お支払い日を記入して日本OR  
学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp まで。

**登壇料：**非会員(非会員学生を含む)の方が研究発表  
をする場合、参加費と別途、登壇料2,000円/件を  
頂戴いたします(事前振込、当日お支払い同額で  
す)。

**当日受付参加費：**

正・賛助会員：7,000円

学生会員：2,000円

非会員学生：2,000円

非会員：10,000円

\*学生の方は、受付で学生証の提示をお願いします。

**懇親会**

**日時：**2017年3月16日(木)夕刻(発表セッション  
終了後)

**場所：**沖縄県市町村自治会館

**事前振込参加費(3/4(土)締切)：**

一般(学生非会員を含む)：3,000円

学生会員：1,000円

**当日受付がある場合の参加費：**一律4,000円

(懇親会は定員制です。事前振込の方を優先します。)

**賛助会員の方へ：**

1口につき1名様が研究発表会に無料でご参加でき  
ます。賛助会員受付にて名刺をご提示ください(事  
前の参加連絡は不要です)。ご参加者様については、  
社内で調整をお願いいたします。ご欠席の場合は研  
究発表会アブストラクト集をお送りします。

**企業展示：募集中****協賛学会(正会員と参加費同額)：**

- ・日本経営工学会(JIMA)
- ・日本品質管理学会(JSQC)
- ・日本信頼性学会(REAJ)
- ・研究・イノベーション学会(JSRPIM)
- ・日本設備管理学会(SOPE-J)
- ・経営情報学会(JASMIN)
- ・プロジェクトマネジメント学会(SPM)

**参加費関連問合せ先：**

OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

**● 研究部会・グループ開催案内****〔離散アルゴリズムの応用と理論〕**

**部会URL：**<http://research.nii.ac.jp/~sumita/or/>

**・第4回**

**日時：**2017年1月6日(金) 14:30～18:00

**場所：**メルパルク京都6階会議室4【桃】

<http://www.mielparque.jp/kyoto/access/>

**テーマと講師：**

(1) “The Sprague-Grundy function for Star Silver  
Dollar game”

Nhan Bao Ho (La Trobe University)

We examine a generalization of the game Silver Dollar that we call Star Silver Dollar played with multiple strips sharing the same square labeled zero. We prove that computing Sprague-Grundy function can be simplified to that of a simpler game with at most two tokens in each strip. We analyze the simplest form, called Star Nim, of this generalization in which each strip has exactly one token. We give an algorithm that, for each Sprague-Grundy value  $g$ , computes the positions of two-token Star Nim whose Sprague-Grundy values are  $g$ . We prove a periodicity of the sequence of these positions.

## (2) “Generating maximal irredundant and minimal redundant subfamilies of a hypergraph”

Endre Boros (Rutgers University)

A hypergraph is called irredundant if every hyperedge contains a vertex with degree =1, that is a so called private vertex. A non-irredundant hypergraph is called redundant. The problem of generating all maximal irredundant subfamilies — MaxIRR (or minimal redundant ones — MinRED) of a given hypergraph was raised recently by Takeaki Uno (Workshop on Enumeration Algorithms and Structure, Lorentz Center, August, 2015), who also pointed out that MinRED is not easier than monotone dualization. Problem MaxIRR is also strongly related to the problem of generating minimal dominating sets in graphs. In this talk we present a number of related results. Among others we show that (1) problems MaxIRR and MinRED are both NP-hard, even if the input is restricted to hypergraphs of maximal degree 3; (2) when restricted for hypergraphs of maximum degree 2, then MinRED is trivial, while MaxIRR is polynomially equivalent with monotone dualization; (3) if the input is restricted to hypergraphs with bounded edge sizes, then MinRED is solvable in polynomially time, while MaxIRR can be solved in polynomial incremental time; (4) finally, under a mild technical condition on the input hypergraphs, MaxIRR becomes solvable in quasi-polynomial incremental time.

## (3) “Metric and ultrametric spaces of resistances”

Vladimir Gurvich (Rutgers University)

Consider an electrical circuit each edge  $e$  of which is an isotropic conductor with a monomial conductivity function  $y_e e^* = y_e e^r / \mu_e e^s$ . In this formula,  $y_e$  is the potential difference and  $y_e e^*$  current in  $e$ , while  $\mu_e$  is the resistance of  $e$ ; furthermore,  $r$  and  $s$  are two strictly positive real parameters common for all edges. In particular, the case  $r = s = 1$  corresponds to the standard Ohm law, while  $r = 0.5$  is the standard square law of resistance typical for hydraulics or gas dynamics.

For every two nodes  $a$  and  $b$  of the circuit, the effective resistance  $\mu(a,b)$  is well-defined and for

every three nodes  $a$ ,  $b$ , and  $c$  it holds that  $\mu^{\{s/r\}}(a,b) \leq \mu^{\{s/r\}}(a,c) + \mu^{\{s/r\}}(c,b)$ . It obviously implies the standard triangle inequality  $\mu(a,b) \leq \mu(a,c) + \mu(c,b)$  whenever  $s \geq r$ . The equality takes place if and only if each path between  $a$  and  $b$  contains  $c$ . One gets several examples of metric and ultrametric spaces playing with parameters  $r$  and  $s$ ; in particular,

(i) the effective Ohm resistance for  $r(t) = s(t) \equiv 1$ ;(ii) the length of a shortest path for  $r(t) = s(t) \rightarrow \infty$ ;(iii) the inverse width of a bottleneck path for  $r(t) \equiv 1, s(t) \rightarrow \infty$ ;(iv) the inverse capacity (maximum flow per unit time) for  $r(t) \rightarrow 0, s(t) \equiv 1$ ;

between any pair of terminals  $a$  and  $b$ , as  $t \rightarrow \infty$ . In all four cases the limits  $\mu(a,b) = \lim_{t \rightarrow \infty} \mu(a,b)(t)$  exist for all pairs  $a, b$  and the metric inequality  $\mu(a,b) \leq \mu(a,c) + \mu(c,b)$  holds for all triplets  $a, b$ , and  $c$ , since  $s(t) \geq r(t)$  for any sufficiently large  $t$ .

Moreover, a stronger ultrametric inequality  $\mu(a,b) \leq \max(\mu(a,c), \mu(c,b))$  holds for all triplets  $a, b$ , and  $c$  in examples (iii) and (iv), since in these two cases  $s(t)/r(t) \rightarrow \infty$ , as  $t \rightarrow \infty$ .

問合せ先：幹事 澄田範奈 (国立情報学研究所)

E-mail: sumita@nii.ac.jp

## ・第5回

日時：2017年2月10日(金) 13:30~17:00

場所：部会HP参照

テーマと講師：

(1) 「現実のスケジューリング問題における最適化適用の現状」

永井秀稔 (新日鉄住金ソリューションズ(株))

新日鉄住金ソリューションズは、製鉄業における鉄鋼生産計画を出発点として、製造業にとどまらず輸送業やサービス業など幅広い領域に最適化システムをご提供しております。近年はSWやHWの進歩によって一昔前より格段に最適化問題を解きやすくなりましたが、一方で、どのようなスケジューリング問題においても「コスト・能力・納期のトレードオフ」や「業務ルール順守不能時の対応」を適切に最適化問題へモデリングすることは難しく、最適化問題を解くこと以上

に頭を悩ませています。

本講演の前半では、スケジューリングの代表的な最適化問題をいくつか俯瞰した後、実問題をシステム化するためにあたっての実践的な最適化モデリングの方法論や技法をご紹介します。後半では、これまでの最適化システムにおける課題感を提示し、実務者による最適化結果の利活用を促進する新たな最適化システム形態に向けた研究取組についてご紹介します。

(2)「ナーススケジューリング—解修正のための情報づくり—」

池上敦子 (成蹊大学)

求解が難しいといわれてきたナーススケジューリングもインスタンスによっては最適化ソルバー等で最適解を得られるようになってきた。残された大きな課題は、解の評価、目的関数の設定などである。人間が抱える暗黙的な評価尺度をすべて陽に表すことは難しく、現実的には、暫定的に設定した目的関数の下で得られた最適解(勤務表)を修正し、人間が最適と思えるものとして利用することになる。

本発表では、修正のための情報づくりとして、与えた目的関数における最適解を非常に多数生成する実験を行った結果を紹介する。数年前には最適解を得ることが難しかったインスタンスについて7000万を超す最適解を得ている。

問合せ先：幹事 澄田範奈 (国立情報学研究所)

E-mail: sumita@nii.ac.jp

〔評価のOR〕

・第73回

日時：2017年1月21日(土) 13:30～16:30

場所：東京理科大学森戸記念館

<http://www.tus.ac.jp/facility/morito/>

テーマと講師：

(1)「観光プラン評価を利用した数理的な観光地魅力度設定法」

蓮池 隆 (早稲田大学)

(2)「非効率評価の比例モデルと銀行の評価」

Shimian Guan (東京理科大学)

問合せ先：廣津信義 (順天堂大学)

TEL: 0476-98-1001 (ex.352)

E-mail: nhirotu@juntendo.ac.jp

\*参加費無料・事前申込は不要です。初めての方も気軽にご参加ください。

## ● 新宿OR研究会

〔第364回〕

日時：2017年1月17日(火)12:00～14:00

講師：山崎久道 氏 (博士(情報科学) 東北大学, 図書館サポートフォーラム代表, 元中央大学教授)

テーマ：「情報貧国ニッポン—記録なき社会の危うさ—」

場所：OR学会事務局会議室

(千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F)

<http://www.orsj.or.jp/members/inquiry2.html>

参加費：2,000円 (昼食代を含みます。事前にもメールにてお申込みください。)

問合せ先：日本OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

## ● 協賛行事案内

OR学会が、共催・協賛・後援する大会やシンポジウムの情報です。参加費など、詳しくは主催学会にお問合せください。

・日本ソーシャルデータサイエンス学会 第3回シンポジウム

日程：2017年2月4日(土)

場所：アクトシティ浜松コンgresセンター41会議室 (浜松市中区板屋町111-1)

主催：日本ソーシャルデータサイエンス学会

WEB：<http://www.jsdss.org/event/157/>

・日本機械学会生産システム部門 研究発表講演会 2017

日程：2017年3月16日(木)

場所：埼玉大学 (さいたま市桜区下大久保255)

主催：日本機械学会生産システム部門

WEB：<http://www.jsme.or.jp/event/detail.php?id=4970>

## ● 公募案内

(詳細は、各大学のWEBおよび、OR学会WEBの「教員公募案内」をご覧ください。)

・神奈川大学工学部経営工学科

募集分野：社会数理システム分野 (オペレーションズ・リサーチ, データ分析, 人工知能, 機械学習, シミュレーションなどを基盤とした, 社会システムや経営システムにおける諸問題を解決するための数理工学あるいは数理学の分野)

職名：特別助手または特別助教 (任期制)

人員：1名

**職務内容**：専攻分野の研究と教育及び教育・研究の補助（その他大学，学部において必要と認められた業務あり）

**応募資格**：(1)大学院博士後期課程修了者（修了見込みも含む）または同等以上の研究業績を有する者。  
(2)着任時に大学，または大学院に在籍するものは応募不可。(3)経営工学に対して理解のある方が望ましい。

**任期**：5年（本学を本務としていただきます。任期中に大学，又は大学院に在籍することはできません。）

**提出書類**：(1)履歴書，(2)教育研究業績書，(3)研究概要及び論文リスト1部，(4)主要論文の別刷，(5)将来の研究・教育に関する抱負，(6)推薦書1部  
\*履歴書及び教育研究業績書の書式ダウンロード  
<http://www.kanagawa-u.ac.jp/employment/professor/fulltime/>

**応募締切日**：2017年1月13日(金)必着

**選考方法**：(1)書類審査，(2)必要な場合は面談の機会を設ける。

**採否通知**：2017年3月中旬までに採否に関する通知をします。

**採用予定日**：2017年4月1日

**待遇給与**：本学規程による

**書類提出先及び問合せ先**：〒221-8686 神奈川県横浜

市神奈川区六角橋3-27-1

神奈川大学学長室気付 工学部長 林 憲玉宛

TEL: 045-481-5661(代)

\*封筒の表に「経営工学科 社会数理システム分野 特別助手・特別助教教員応募書類在中」と必ず朱書きし，書留便にて送付のこと。

URL：<http://www.kanagawa-u.ac.jp/employment/professor/fulltime/pdf/033.pdf>

#### 訂正

この度，第61巻第12号において，編集上のミスにより誤植がございました。

当該記事に関する方々，読者の皆様にご迷惑をおかけし誠に申し訳ございません。深くお詫び申し上げますとともに，下記のとおり訂正させていただきます。

該当ページ：p. 865 タイトル

誤) 国際会議ICCOPT 2016 Tokyo 開催の経験と教育 (1)

正) 国際会議ICCOPT 2016 Tokyo 開催の経験と教訓 (1)

\*\*\*\*\*  
**2016年度待ち行列シンポジウム「確率モデルとその応用」**  
 \*\*\*\*\*

2017年1月19日(木)～21日(土)

東京理科大学 森戸記念館 (東京都新宿区)

質疑応答含め一般 1人あたり30分, 学生 1人あたり25分

\*=発表者 (複数著者の場合)

\*\*\*\*\*  
**1月19日(木)**

12:50 開会にあたって 塩田茂雄 (千葉大学)

**Session T1 (13:00～15:00) 企画セッション 座長:小林正弘 (東海大学)**

**「確率・統計及びその応用」**

- 13:00 正方分割表における非対称性のモデルについて  
田畑耕治 (東京理科大学)
- 13:45 1次元線形セルオートマトンの極限挙動  
竹居正登 (横浜国立大学)
- 14:30 Tail asymptotics for  $E_r/E_r/k$  queues with join-the-shortest-queue discipline  
\*小林正弘 (東海大学), 増山博之 (京都大学), 佐久間 大 (防衛大学校)

**Session T2 (15:15～16:30) 学生セッション 座長:井家敦 (神奈川工科大学)**

- 15:15 マルコフ変調型集団ポアソン到着無限サーバー待ち行列の極限定理  
\*矢島萌子 (東京工業大学), フン・ドクトゥアン (筑波大学)
- 15:40 Uplink coverage analysis for heterogeneous cellular networks  
\*小林拓矢, 三好直人 (東京工業大学)
- 16:05 セルラネットワークにおける移動車両の通信精度解析手法  
徳山喜一 (東京工業大学)

**Session T3 (16:45～17:45) 一般セッション 座長:フンドクトゥアン (筑波大学)**

- 16:45  $M/G/1+PH$ 待ち行列における系内容数分布の数値計算法  
井上文彰 (大阪大学)
- 17:15 待合せ放棄のある  $M/M/m$  割り込み型LCFS待ち行列におけるサービス完了または待合せ放棄までの時間の解析  
高木英明 (筑波大学)

懇親会 (18:00～20:00) 司会:井上文彰 (大阪大学)

**1月20日(金)**

**Session F1 (9:30～11:10) 学生セッション 座長:藤本 衡 (東京電機大学)**

- 9:30 ビットコインのマイニング・モデルとトランザクション承認時間解析  
\*河瀬良亮, 笠原正治 (奈良先端科学技術大学院大学)
- 9:55 BGPネットワークにおける障害規模の推定手法の検討  
\*後谷浩輔, 小林 香 (富山県立大学)
- 10:20 BGPメッセージを用いた迂回路検出手法の検討  
\*山谷周平, 小林 香 (富山県立大学)
- 10:45 巡回セールスマン問題の近似解法に対する極値統計を用いた計算停止指標  
\*仲川諒馬, 増山博之 (京都大学), 檀 寛成 (関西大学), 高橋 豊 (京都大学)

11:10～12:40 昼休み

**Session F2 (12:40~14:20) 学生セッション 座長：木村達明 (NTT)**

- 12:40 既約でLumpableなマルコフ連鎖の上界の改善  
\*石川真也, 河西憲一 (群馬大学)
- 13:05 レベル依存するM/G/1型マルコフ連鎖における条件付き定常分布の数値計算アルゴリズム  
\*木村雅俊, 滝根哲哉 (大阪大学)
- 13:30 Geometric convergence of finite-level M/G/1-type Markov chains  
\*勝又洋介, 増山博之, 高橋 豊 (京都大学)
- 13:55 セルラネットワークの確率空間モデルに対するポアソン点過程近似について  
\*高橋雄太, 三好直人 (東京工業大学)

**Session F3 (14:35~16:35) 企画セッション 座長：岡村寛之 (広島大学)****「マルコフ決定過程の信頼性評価への応用」**

- 14:35 マルコフ決定過程に基づくマルチユニットシステムの最適保全方策  
金 路 (電気通信大学)
- 15:15 修理と観測の不完全性を考慮したマルコフ的劣化システムにおける最適保全方策の単調性  
田村信幸 (法政大学)
- 15:55 契約電力超過確率最小化に関する研究  
\*小柳淳二, 古林雄貴, 河野大地 (鳥取大学)

**特別講演 (16:50~17:50) 座長：塩田茂雄 (千葉大学)**

情報システムと待ち行列  
高橋 豊 (京都大学)

**1月21日 (土)****Session S1 (9:30~10:20) 学生セッション 座長：岸康人 (東京交通短期大学)**

- 9:30 Revisiting the heavy-traffic asymptotics of the GI/G/1-type Markov chain: a complete proof of the asymptotic formula for the stationary distribution  
\*木村達明 (NTT), 増山博之, 高橋 豊 (京都大学)
- 9:55 MASを使用したセルフレジの混雑解消能力の検証  
\*平田直也, 中桐斉之 (兵庫県立大学)

**Session S2 (10:35~12:05) 一般セッション 座長：河西憲一 (群馬大学)**

- 10:35 受付期間とポアソン分布に従う客母集団を有する離散時間単一サーバ待ち行列における均衡した到着時点分布  
\*佐久間 大 (防衛大学校), 小林正弘 (東海大学), 増山博之 (京都大学)
- 11:05 A Finite Bottleneck Game with Homogeneous Commuters  
河崎 亮 (東京工業大学), 小西秀男 (ボストンカレッジ), \*湯川隼貴 (東京工業大学)
- 11:35 上界と平均の上界が与えられた確率過程の特徴づけ  
高田寛之 (長崎大学)
- 12:15 待ち行列研究会部会研究奨励賞受賞者発表 塩田茂雄 (千葉大学)  
閉会にあたって 塩田茂雄 (千葉大学)

**2017年度年会費納入のお願い**

2017年度（2017年3月1日～2018年2月28日）年会費の請求書を11月に発送しましたこのゆうちょの払込取扱票は、2017年1月以降もご使用可能です。

大学または、会社宛の請求書が必要な場合は、以下をメールにて事務局にお知らせください（会員氏名、請求金額、請求書宛名（個人名／法人名／法人名＋個人名）請求書の日付指定の有無、様式の指定…請求書／見積書／納品書、指定用紙など）。

**OR学会の事業年度は3月～翌年2月までです。**

**年会費専用振込み口座**

みずほ銀行 根津支店（店番号235）普通1124744  
口座名：公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会  
カナ：シヤ）オペレーションズリサーチガクカイ

郵便振替口座 00190-6-79492  
口座名：公社）日本オペレーションズリサーチ学会

ゆうちょ銀行 ○一九（ゼロイチキユウ）（店番号019）  
当座 0079492  
口座名：公社）日本オペレーションズリサーチ学会

年会費（不課税） 正会員 14,400円  
学生会員 5,000円  
シニア会員 7,200円  
\*手数料は払込人様ご負担をお願いします。  
\*お名前はフルネームでお書きください。

**シニア会員について**

正会員のうち、20年以上正会員を継続し、会費を完納している60歳以上であり、定常収入を有しない方は、理事会の承認によりシニア会員になることができます。申請／承認後、翌年度よりシニア会員となります。シニア会員の会費は7,200円です。

**特別会員について**

正会員のうち、身体障害者手帳をお持ちの方は、その手帳の写しを事務局に提示していただくことにより、特別会員として年会費半額の免除制度があります。申請／承認後、翌年度より特別会員となります。特別会員の会費は7,200円です。

**年会費の口座振替（正会員）**

年会費自動振替の方は2017年1月20日に「2017年度年会費」を引き落としの予定です。

**2016年3月ご卒業の学生会員の方へ**

**1) ご就職により正会員として会員継続希望の方へ**  
新所属先（郵便番号、住所、所属機関、所属部署、電話番号、メールアドレス）、新自宅住所（変更があった場合）、連絡先メールアドレス（所属先／自宅）および、OR誌送付先（所属先／自宅）を事務局にお知らせください。

2016年度の会費はそのままです。2016年11月に2017年度正会員年会費14,400円の請求書を発送いたしました。

**2) 退会希望の方へ**  
退会理由（卒業、大学院修了等）を書いて、退会届のメールを事務局に送ってください。

**学生会員年会費無料化キャンペーン**

OR学会では学会活性化の一環として、2013年度から開始した「学生会員年会費無料化キャンペーン」を継続中です。

1) 学生新入会希望で、かつ指導教員が正会員の方は、学生会員年会費5,000円は無料となり、入会金600円でご入会できます。

- ①WEBからの入会申込み
- ②入会金600円のお振込み
- ③指導教員様からの応募メール（「指導教員様のお名前、ご所属、学生の方のお名前、ご所属、メールアドレス」）

以上3点をもって、無料化受付が完了します。

2) 学生新入会希望で、指導教員様が非会員の場合は、「学生会員年会費無料化キャンペーン対象外」となり、通常の年会費5,000円が必要となりますので、ご注意ください。

**OR学会事務局**

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp  
〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5  
サン・チカビル7F

TEL: 03-3851-6100, FAX: 03-3851-6055

\*各種お届けは、メールにてご連絡ください。

（住所／所属先／メールアドレス／OR誌送付先等の変更、退会届）

会員氏名と新旧の変更内容をお書きください。